

平成 30 年 4 月 26 日

地域中小企業のためのオープンイノベーション・プロセスモデルをとりまとめました

関東経済産業局は、オープンイノベーションに取り組む中小企業や、連携を支援する支援機関が活用できるオープンイノベーション・プロセスモデルを作成しました。

オープンイノベーションにかかる様々な課題に対して、対応策を事例とともに示すことで、各企業や支援機関などのオープンイノベーションの活動の活性化を図ります。

1. 趣旨

近年、大手企業では外部から異業種・異分野の技術・ノウハウを積極的に取り入れて新製品・サービス開発、新規事業展開に繋げる「オープンイノベーション」が活発化しています。

しかしながら、オープンイノベーション対話において、文化や慣習の違い、意思決定スピードの違い、情報・ノウハウの流出に対する不安、契約交渉や知的財産に関する知識・ノウハウの格差から、本来あるべき公平な協業・連携の成立が阻害されているとの指摘もあります。

そこで、企業同士の出会いから事業化まで、オープンイノベーションの一連の流れの中で中小企業が直面すると思われる主な課題を洗い出すとともに、その対処方法を事例とともに示す「プロセスモデル」を作成しました。

2. 研究会

本モデルの策定においては、平成 29 年 11 月から平成 30 年 3 月まで「オープンイノベーション促進のためのプロセスモデル研究会」にて議論をしてきました。

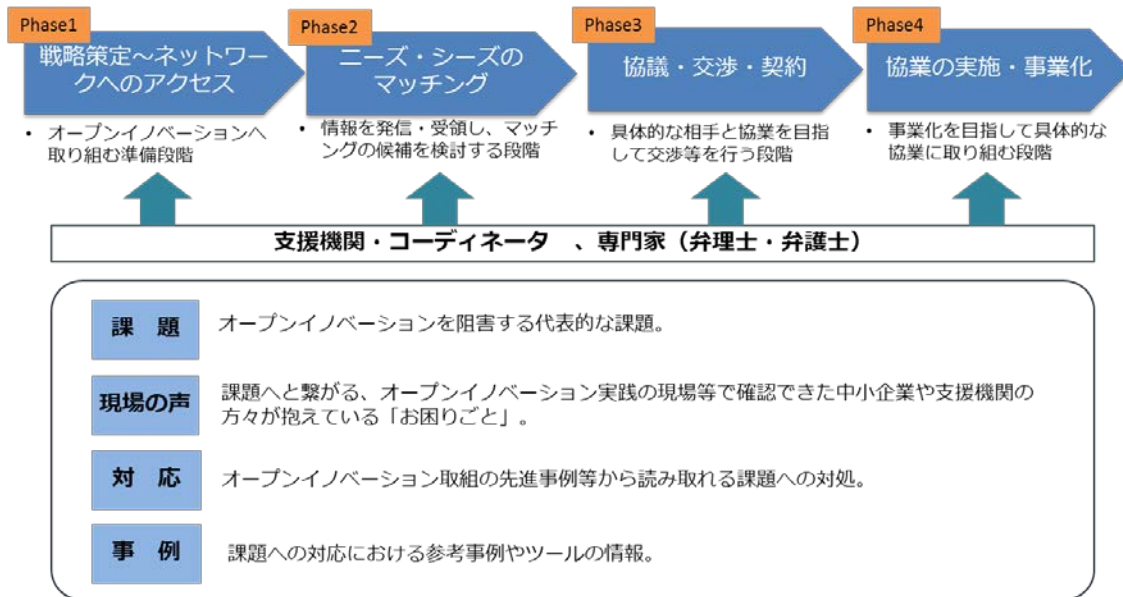
研究会メンバー

- | | |
|--------|--|
| 元橋 一之 | 国立大学法人東京大学 大学院工学系研究科 教授（座長） |
| 後藤 良子 | 一般社団法人 T X アントレプレナーパートナーズ 理事／
アドバイザリーボード代表世話人 |
| 小松 隆史 | 株式会社小松精機工作所 専務取締役／研究開発部長
（株式会社ナノ・グレインズ 代表取締役社長） |
| 辻村 学 | 株式会社荏原製作所 取締役 執行役専務 |
| 土森 俊秀 | 栗林総合法律事務所 弁護士 |
| 橋本 虎之助 | グローサクストコンサルティング株式会社 代表取締役社長
（橋本総合特許事務所 所長 弁理士） |
| 山縣 秀司 | 公益財団法人さいたま市産業創造財団 理事長 |

3. プロセスモデルのポイント

大手企業と中小企業等との協業・事業化まで「4つのフェーズ」に分けてプロセスモデルを示しています。

プロセスモデルは、「課題」及びそれを示す「現場の声」、課題への「対応」、対応における「事例」の構成となっています。



全体については以下の URL を参照してください。

http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/open_innovation/process_model.html

4. その他のオープンイノベーションの推進

大手企業と中小・ベンチャー企業とのオープンイノベーションの促進として、様々な情報提供のほか、ネットワーク構築のための交流会やマッチングを行っています。詳細は以下の URL を参照してください。

http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/open_innovation/index.html

(本発表資料のお問合せ先)

関東経済産業局地域経済部産業技術革新課長 門田 靖

担当者：吉田、渡邊

電話：048-600-0422（直通）

FAX：048-601-1287